



SENDAI BOSAI TECH

自治体の “避難所運営のリアル”を知ろう!!

2022/09/27

宮城県・利府町

基本情報



利府町

Rifu town

所在地

宮城県中央部

人口

約 36,000 人

特に対策の 必要な災害

地震、津波、台風・大雨（土砂災害・浸水害）

町の特徴

- 西部に市街地、東部に森林・丘陵地帯が広がる地形
- 西は政令指定都市「杜の都」仙台市に隣接
- 東の海岸部は「日本三景」松島の一角を形成
- 3つのＪＲ駅と4つのインターチェンジで交通アクセス良好



避難所運営のプロセス（実態）

	やること	課題
平常時 （準備）	<ul style="list-style-type: none">各避難所の防災倉庫に物資を準備。備蓄食料は毎年逐次更新町内各小売店と協定を締結し、不足分を供給できる体制を構築	<ul style="list-style-type: none">備蓄食料のローリングストックは、訓練で活用したり、コロナ過で食料調達ができない家庭に配布しているものの、毎年廃棄処分が発生協定締結先と災害時の連絡手段に不安が残る。
災害発生時	<ul style="list-style-type: none">利府町の公共施設は、避難所担当職員が避難所を開設する。学校は、各学校の計画により避難所を開設する。	<ul style="list-style-type: none">休日夜間では、避難者の到着時に、学校職員や避難所担当職員が到着していない可能性がある。（カギが開けられない）町内会、学校との情報共有に時間を要する。
避難者 受け入れ時	<ul style="list-style-type: none">2段階に受付を開設。まず体温、体調についての確認を行い一般の受付と専用スペースへの受付に分けて案内する。続いてそれぞれの受付に案内して避難者カードの記入等を実施してもらう。	<ul style="list-style-type: none">受付時の避難者カードへの記入や体調確認等で、避難所内への誘導に時間を要する。避難者数の集計が自動化されておらず、災害対策本部等への報告に時間を要する。
避難者 滞在時	<ul style="list-style-type: none">避難者の入所や退所を管理。在宅や車中泊等の避難者へも柔軟に対応する。（避難者名簿への登録が必要）物資支援に加え、避難者の体調を把握し、適切なサポートを行う。	<ul style="list-style-type: none">避難者の退所（一時退所含）の管理が困難。在宅避難者への物資支援の手段・方法等が未定避難者が多い場合に、避難者ひとりひとりの体調の把握や適切なケアをすることが困難。

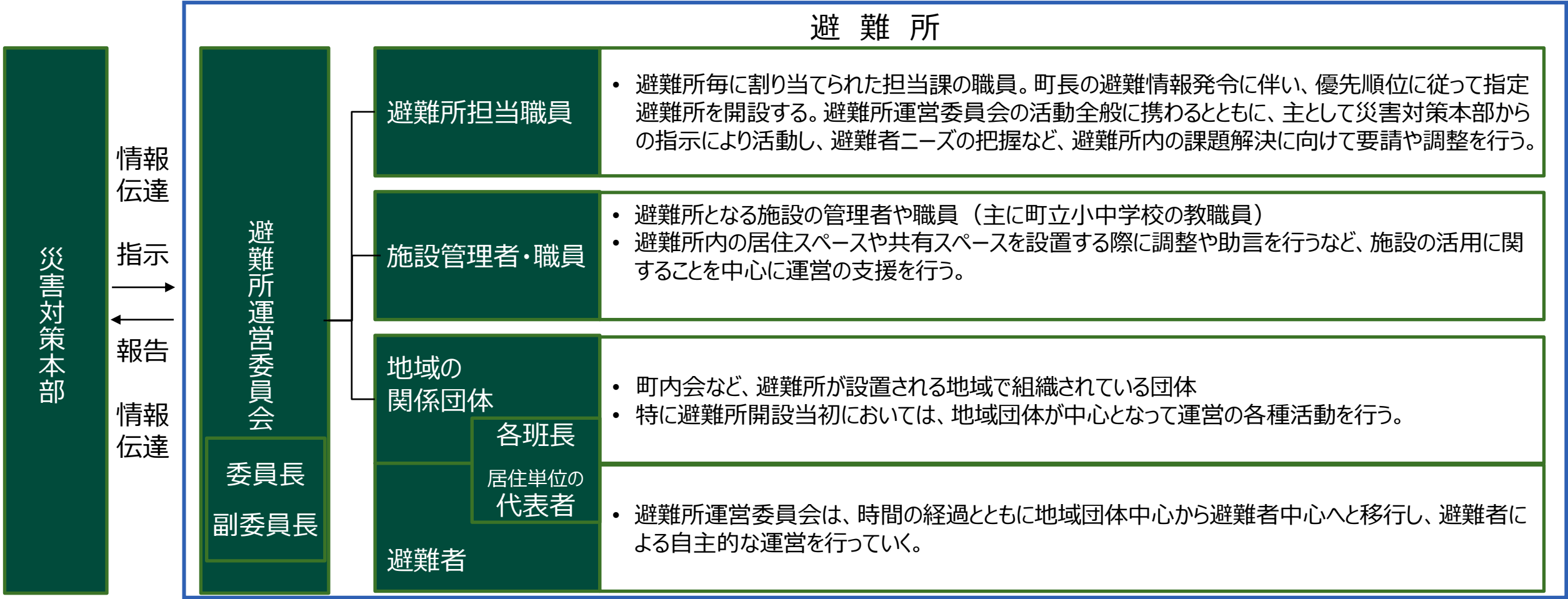
避難所運営の体制（発令）

災害発生時、町長が避難指示を発令するにあたり、約 6 0 0 k m以上離れた地域での地震や火山噴火に伴う遠地津波や、台風による浸水などあらかじめ災害の発生が予想される場合は、事前に避難所を開設した上で避難指示を発令することができるが、地震や近海での地震に伴う津波、大雨に伴う土砂災害は、避難指示を発令したのち避難所を開設することとなり、避難者を受け入れながらの避難所開設には多くの課題がある。



避難所運営の体制（役割）

利府町では、担当職員、施設管理者や教職員、町内会等で構成する「避難所運営委員会」が主体として避難所を運営することとして避難所運営ガイドライン等に明記し、訓練等を通じて関係構築を図り、災害時にはスムーズな運営を行えるよう組織的な体制の構築を目指している。



これまでの避難所訓練での取り組み

恒久的に使用できるパーテーション、ベッド等の活用

- ・ 職員の非常参集訓練において若手職員の避難所開設訓練を実施し、避難所開設能力の向上を図っております。
- ・ 段ボール素材であれば訓練ごとの損耗があるため、洗浄・消毒もできる素材を採用しております。

- ・ 避難所開設訓練では、家族構成の応じたパーテーションの展張を行い、避難者目線に立った避難所運営を心がけております。



これまでの避難所訓練での取り組み

災害時に快適な避難生活、新型コロナウイルス感染症対策にも有効

・ F C E V（燃料電池自動車）を導入し、併せて外部給電器による電力が供給できる体制を整えております。

・ 軽自動車タイプのトイレカーを導入し、災害時の快適なトイレ環境を提供できる体制を整えております。

